

【日程を変更しております】 次回大会案内
第 36 回美術科教育学会 奈良大会（第二次案内）

奈良大会実行副委員長
竹内晋平（奈良教育大学）

【日程変更のお知らせ】

第 36 回美術科教育学会奈良大会は 2014 年 3 月 28 日（金）、29 日（土）、30 日（日）の 3 日間、奈良教育大学（奈良市高畑町）において開催いたします。

※ 学会通信第 83 号で既にお知らせしている日程から変更しております。ご注意ください。



奈良教育大学 講堂

【奈良大会の概要】

■主催：美術科教育学会

■後援（予定）：奈良県教育委員会

■会期：2014 年 3 月 28 日（金）、29 日（土）、30 日（日）

■会場：奈良教育大学（奈良市高畑町）

■大会テーマ

美術教育における〈言葉・コミュニケーション〉
ーアートと言葉，言語活動の充実，鑑賞と表現，遊びと学び，共通事項ー

■日程（予定）

3 月 28 日（金）大会第 1 日

12:10～12:50 受付

13:00～14:30 研究部会交流会

14:40～17:30 研究発表

17:50～19:50 理事会（理事，監事）

3 月 29 日（土）大会第 2 日

9:00～10:10 開会式・総会 於：大講義室

10:25～12:05 研究発表

13:00～14:25 研究発表

14:50～17:30 シンポジウム 於：大学講堂

「美術科教育における コミュニケーション，
ことば，言語活動」

18:00～20:30 懇親会 於：大学内・山田ホール

3 月 30 日（日）大会第 3 日

9:00～11:10 研究発表

11:20～12:50 研究部会交流会

■シンポジウムについて

「美術科教育における コミュニケーション，ことば，言語活動」

平成 20 年 8 月の学習指導要領改訂告示に先だち，中央教育審議会から「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善について（答申）」が示された（平成 20 年 1 月）。この答申においては，本シンポジウムのテーマである‘コミュニケーション’

と‘ことば’に関連して，「各教科等における言語活動の充実は，今回に学習指導要領の改訂において各教科等を貫く重要な改善の視点である」と述べられている。豊かな「言語活動」によって思考力・判断力・表現力の伸長を図り，「生きる力」という理念にアプローチしようとする学習指導要領のもとで，図画工作・美術科学習においても現在，多くの学校現場で実践が進められている。

その一方で，美術科教育ではこれまでから‘コミュニケーション’と‘ことば’を視覚的・身体的な問題として扱ってきた経緯がある。また，「言語活動」を含めた‘コミュニケーション’と‘ことば’は本来，美術科教育の学習活動を成り立たせるための重要な要素であるとも言えるのではないだろうか。

このように‘コミュニケーション’と‘ことば’を広義に，そして不可欠なものとしてとらえてきた美術科教育の特性を再検討し，言語活動との関連性について考察していく必要があると考えられる。本シンポジウムでは，学習指導要領に位置付けられている「言語活動」を念頭におきながらも，美術科教育における‘コミュニケーション’と‘ことば’の意義について，幅広い協議を進めていきたいと考える。

・シンポジスト：

佐藤学 氏（学習院大学 教授）

三重大学助教授，東京大学大学院教育学研究科教授などを経て現職。東京大学名誉教授。東京大学大学院教育学研究科博士課程修了。教育学博士。著書に『米国カリキュラム改造史研究』（東京大学出版会，1990 年），『教育改革をデザインする』（岩波書店，1990 年），『教師というアポリア』（世織書房，1997 年），『子どもたちの想像力を育む アート教育の思想と実践』（東京大学出版会，2003 年），『教師花伝書』（小学館，2009 年）など。

西井恵美子 氏（和歌山市立雄湊小学校 教諭）

和歌山大学附属小学校などを経て現職。京都教育大学卒業。日本教育美術連盟研究会，美術科教育学会等で造形遊

びに関して発表。「芒・蒲を描く—身体感覚を研ぎ澄ませいきいきとした線を生む—」(『美術教育実践研究』No. 1, 和歌山大学美術教育研究会, 2012年), 「線のぼうけん—線の魅力と可能性を感じる—」(『形』No. 299, 日本文教出版, 2013年) など。

西澤明氏(金沢大学附属中学校 教諭)

金沢市内公立中学校教諭を経て現職。金沢美術工芸大学大学院美術工芸研究科, 金沢大学大学院教育学研究科修了。金沢美術工芸大学非常勤講師。金沢21世紀美術館「ミュージアムエデュケーション21」, 美術科教育学会<フォーラム in 京都>等で美術館との連携活動に関して発表。金沢大学附属中学校の「言語活動」に着目した校内研究を研究主任として統括(2010-2011年)。

・コーディネーター・司会:

竹内晋平(奈良教育大学 准教授)

京都教育大学附属京都小学校教諭などを経て現職。京都教育大学大学院教育学研究科, 京都市立芸術大学大学院美術研究科修了。博士(美術)。論文に「『小学図画』論争と日本画的図画教育—京都府師範学校附属小学校刊行論文の考察を中心に」(『美術教育学』第31号, 2010年), 「造形活動における児童の感受を通じた芸術発信I」(『大学美術教育学会誌』第44号, 2012年) など。

■参加申し込み方法【事前のお申込みがお得です】

(1) 学会参加費:

①事前申込み料金

正会員: 4,500円, 大学院生(現職等の社会人をのぞく, 正会員を含む。以下同様): 2,500円, 大学院生以外の非会員: 5,500円

②当日申込み料金

正会員: 5,000円, 大学院生: 3,000円, 大学院生以外の非会員: 6,000円

懇親会費:

①事前申込み料金

3,500円(大学院生は, 2,500円)

②当日申込み料金

4,000円(大学院生は, 3,000円)

(2) 参加申し込み最終期限と参加費・懇親会費の払い込み最終期限: **2014年2月28日(金)**

*参加申し込み及び参加費の払い込みは、本学会通信発送時に同封させていただいている払込取扱票に必要な事項をご記入の上、お振り込みください。参加費の振り込みによって学会参加申し込み手続きとさせていただきます。

*参加費払い込み用の払込取扱票を紛失された方は、郵便局にある払込取扱票をお使いください。その際は、必ず払込取扱票の通信欄に「参加費 4,500円」「懇親会費 3,500円」などを明記してください。

口座番号記号: 00950-5-234123

加入者名: 第36回美術科教育学会奈良大会

*通信欄に、ご住所、ご所属(大学院生の場合は、「院生」と明記をお願いします)、お名前、電話番号等をご記入ください。

*当日受付も可能ですが、大会運営上できるだけ事前申込みをお願いします。なお、参加申し込み最終期限の2月28日(金)以降は口座に振り込まず、当日受付(当日申込み料金, 左記参照)にてお支払いください。

■研究発表申込

別紙「第36回美術科教育学会奈良大会研究発表の申込について」をご参照の上、2014年12月13日(金)までに申し込んでください。

■研究部会での発表

研究部会での発表については、代表者がとりまとめの上、2014年12月13日(金)までに大会事務局へ申し込んでください。

■学会 web サイト上でのお知らせ

奈良大会開催までの各種の広報・連絡等は、美術科教育学会 web サイト(<http://www.artedu.jp/>)にて随時お知らせします。ご参照ください。

■奈良教育大学までの移動手段

◆主要駅からJR奈良駅・近鉄奈良駅までの所要時間

大阪から 約50分(JR線, 近鉄線)

なんばから 約35分(近鉄線)

京都から 約45分(JR線, 近鉄線)

三宮から 約80分(JR線, 阪神・近鉄線)

◆JR奈良駅から奈良教育大学までの経路

○奈良交通バス:

2系統 市内循環線(外回り), 56系統 山村町行, 57系統 藤原台行などに乗車, 高畑町(たかばたけちょう)で下車(約15分), バス停から徒歩1分。

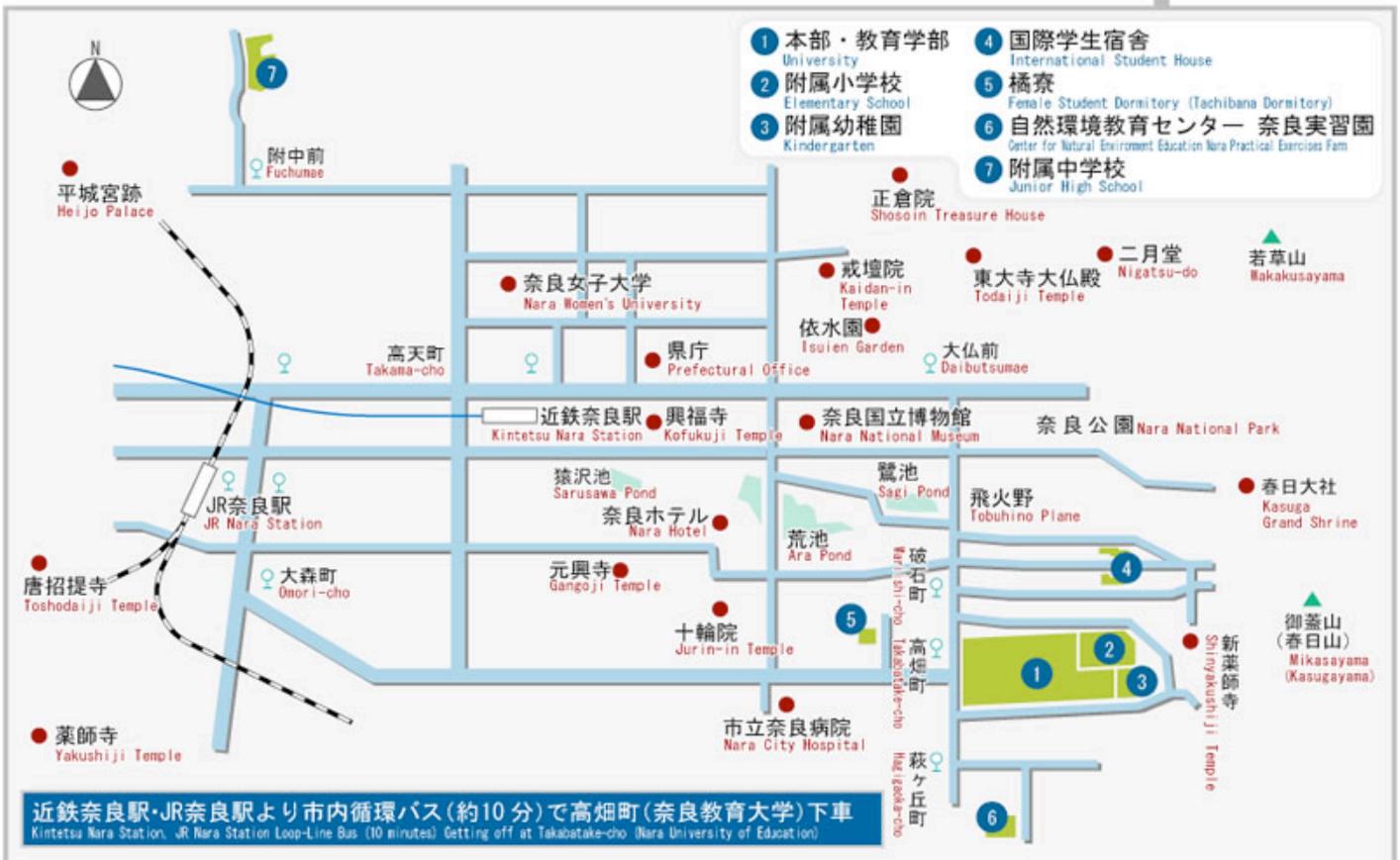
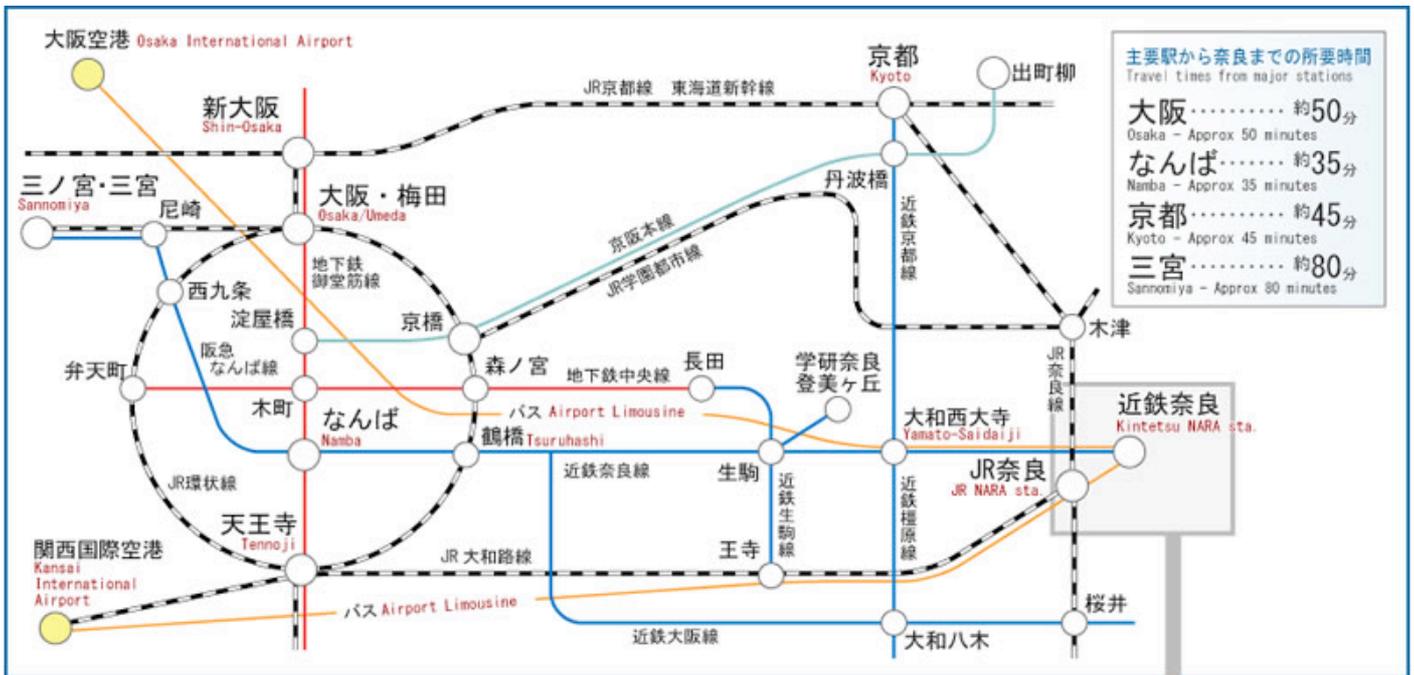
○タクシー: 所要時間約15分。

◆JR奈良駅から奈良教育大学までの経路

○奈良交通バス:

2系統 市内循環線(外回り), 6系統 中循環線(外回り), 56系統 山村町行, 57系統 藤原台行などに乗車, 高畑町(たかばたけちょう)で下車(約10分), バス停から徒歩1分。

○タクシー: 所要時間約10分。



問い合わせ先：大会運営事務局

〒630-8528 奈良市高畑町 奈良教育大学

宇田秀士 (大会実行委員長) TEL/FAX 0742-27-9223 (研究室直通) E-mail udah@nara-edu.ac.jp

竹内晋平 (大会実行副委員長) TEL/FAX 0742-27-9038 (研究室直通) E-mail shimpei@nara-edu.ac.jp